

TAMBA100 アドベンチャートレイル2024

ボランティア募集要項

1. 開催日：2024年6月6日(木)～6月9日(日)
2. 開催場所：兵庫県丹波市 受付会場：丹波の森公苑
3. 募集内容：

- コース案内(ロード区間、トレイル区間)
- エイド(給水)ステーション管理
- 受付・登録確認
- メディカル、医療、救護スタッフ
- 国際ボラ、外国人選手とのコミュニケーション
- ランナー応援レター
- スーパー(当日までにコースを知っている必要があります。)
- その他イベント運営補助



4. 応募方法：

右の大会HPのボランティア申し込みフォームから
必要事項を記入し、送信してください。



5. 応募締切： 5月末まで

6. ボランティア特典：

- TAMBA100オリジナル水筒 or リストゲイター

7. 大会概要：

「TAMBA100アドベンチャートレイル」は、2016年より丹波市をトレイルランニングの聖地として世界にアピールしようと始まった大会です。その内容が2021年、2023年NHKのBS「グレートレース」で紹介され、全国の視聴者に大きな感動を呼びました。今年は「100mile」「100km」に加えて、「20km」「ノーマル4.5km」「キッズファミリー2.5km」の категорияが加わり、より多くの方々に丹波市とトレランの魅力を味わっていただけたと思います。その成功のためにはボランティアの方々の協力が不可欠です。ぜひともあなたもボランティアに登録してください。そして、ランナーとともに、感動を共有しましょう！

8. 注意事項:

- 天候等によりイベントが中止または変更となる場合があります。その際は速やかに連絡いたします。
- ボランティア活動中の事故に関しては、主催者の保険適用範囲内で対応いたします。
- 食事等は原則各自で確保してください。

9. 大会スケジュール(※詳細は[ホームページ参照](#)):

6/6(木) 13:00～前日受付

17:00～セレモニー(招待選手トークショー等)

6/7(金) 8:00～100mileスタート

20:00～100Kスタート

6/9(日) 8:30～20Kスタート

10:00～ノーマル4.5km

11:00～キッズファミリー

14:00～表彰式

15:00～フィニッシュ制限大会終了

19:00～後片付け&会場完全撤収

◆大会の目的:

トレイルランニングを通じて、スポーツの楽しさを味わうとともに、丹波市の魅力を全国のみならず、世界に伝える。さらに地域住民全体でその運営に関わることを通して、地域を盛り上げ、故郷の良さを再認識する機会とする。そして、沢山の方々が手を結び、世界一の100マイルレースを都市部から遠く離れた小さな市～丹波市～から生み出す喜びを感じ、社会に希望と勇気と活力を与える。

◆大会の最終的な目標:

この大会に関わった全ての人が喜び笑顔に満ち溢れるWIN-WIN-WINを実現すること

◆大会開催背景:

2016年より地域を盛り上げるイベントとして「第1回黒井城トレイルランニングレース」を開催し、5回大会まで毎年開催しました。その後、低山が連なる丹波市全域をめぐるコースにし、より多くの住民の方々にトレランに関わってもらい、トレランの魅力と丹波市の素晴らしさを伝える大会にしようという機運が高まってきました。

様々な海外の大会に参加し、また丹波での大会を企画・運営していく中で、低山でありながら、急峻で厳しいトレイルをもつ丹波市周辺の山岳が、「100マイル」のカテゴリーにおいて、世界一を誇るコースであることを実感することができました。

その素晴らしいコースを、全国、世界から認知してもらいたい、と強く感じるようになり、さらにこの大会運営が地域活性や地域創生に貢献できると確信し、2021年11月26-29日(金-月)に「TAMBA100アドベンチャートレイル」を開催しました。それはNHKグレートレース「壮絶!里山が牙をむく～丹波アドベンチャートレイル～」で放映され、全国の視聴者に大きな感動と勇気を与え、TAMBA100アドベンチャートレイルは一躍全国的に有名となりました。

さらに2023年6月、第2回となる大会を開催し、そこでもBS放送としては異例となる2大会連続でのNHKグレートレース『勝つのは俺だ! ずぶ濡れの里山決戦～兵庫・丹波～』として放送されました。そこでも大きな反響を呼び、TAMBA100アドベンチャートレイルはトレイルランナーの憧れの地となりました。

本年度はそれを更にブラッシュアップし、「100マイル」、「100km」に加え、「20km」、「ノーマル4.5km」、「ファミリー2.5km」、「キッズ2.5km」の6部門に増やし、より多くの方々に、トレランの楽しさと丹波市の里山の魅力を

感じてもらいたいと考えています。

運営体制や組織も一新し、兵庫県、丹波市、丹波市自治会長会等の後援体制の下、世界一過酷な100マイルレース「TAMBA100アドベンチャートレイル2024」が今年も開催されます。

◆大会にかける主催者の思い

「TAMBA100アドベンチャートレイル」は本当に何の実績も権威もない所から始まりました。私が既に全国各地のトレイルランニングのレースに出場していた中で「丹波が世界一を誇れる地である」ということに気づいてからは、丹波市でのトレイル大会実現に向けて試行錯誤し、いろいろな方々と話をし、魅力を語り、理解の和を広げてきました。

しかし、当時はトレイルランニングという競技自体、まだまだ一般の方への認知度が低いのが現状でした。そのため、私自身が競技者としての実績を積み重ねながら、トレランという競技の認知度をあげることに全力で向きあってきました。

「山を走るなんて危ない。怪我したらどーするんだ?」「街中を大人数で走ったら近所迷惑になるからやめてくれ」「夜間走るなんて不審者そのもの。そんなことは他の所でやってくれ」こんな声を耳にするたび、時間を取り、一からトレラン競技の説明をするところからスタートし、ようやく6年以上が経ちました。

トレラン競技者の中では「100マイル」(160km~175km)というレースが世界的に最も人気で、多くの方がそこに計り知れない情熱をかけて挑戦している姿を見てきました。そして、そんな自分の人生を懸けるようなレースを、この丹波の地でも実現させたいという思いが年々強くなり、多くの不安な声や否定的な意見に耳を傾けながら、1つ1つ前に進んできました。

そして、2021年11月、その思いが少しずつ地域やランナーの方々に伝わり1回目の「TAMBA100アドベンチャートレイル」を開催することができました。幸運なことに、私のその熱い想いをNHKの取材班の方々が汲み取ってくださり、NHK BS放送「グレートレース」『壮絶!里山が牙をむく~丹波アドベンチャートレイル~』で放映していただき、全国各地の視聴者の方々に感動を与えることとなりました。さらに2023年6月には、第2回大会を開催し、異例の連続2大会放送となり、再びNHK BS放送「グレートレース」『勝つのは俺だ! ずぶ濡れの里山決戦~兵庫・丹波~』で放映していただきました。そのおかげもあり、地域の理解もさらに進み、非常に多くのボランティアの支援を受けることができました。

2024年以降は、実行委員だけではなく行政や自治会、地域住民の方々と手を結び、「世界一温かいトレラン大会」を合言葉に、地域全体で大会をつくりあげています。そして丹波の地に日本全国、さらには世界各国からより沢山の方々に来ていただき、この地の良さや温かさ、丹波のトレイルの素晴らしさや自然の偉大さを感じ取って帰って欲しいと願っています。そしてまた、丹波の地を自分の故郷のように感じ、また遊びに来て欲しい、そんな思いを持ち

ながら、日々大会準備に励んでおります。

「丹波を世界一へ」という想いだけはこの7年以上、一度もブレることなく持ち続けてきました。私のその強い想いに共感し、手伝ってくれる方々が居なければ、何も実現することはできませんでした。

これからもさまざまな荒波や困難が待ち受けていると思いますが、心の中に、熱い気持ちだけは持ち続け、全身全霊を込めて世界最高の大会をつくりあげたいと思っています。当然のことながら、大会を作り上げるに私一人どんなに熱い想いを持っていても不可能です。私一人の力では何もできません。

参加してくれる選手はもちろんですが、沢山の協賛、後援、地域の方々の協力とボランティアスタッフの協力無くしては実現できません。

私のこの想いに理解と共感をいただき、少しでも協力いただけるならありがたいと存じます。

そして、一緒に「丹波で世界一」をつくりあげのお手伝いをしていただければ望外の幸せです。どうぞよろしく願いいたします。

TAMBA100アドベンチャートレイル実行員会

実行委員長 中谷 亮太